

# 兵庫県南部における夜空の明るさ同時観測

兵庫県高砂市立高砂小学校 4年 松本 朱音

## 1. はじめに

2014年3月22日に、神戸市摩耶山付近6ヶ所と高砂市加古川河川敷で、愛知県立一宮高等学校地学部と私で夜空の明るさを同時観測しました。

## 2. 方法

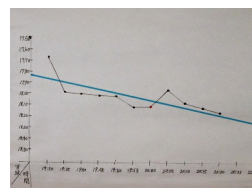
SQM (スカイクオリティメーター) を使って19:30~20:30の間、5分ごとに計測した。1回の計測で5回ずつ測り中央値をとった。

## 3. グラフ化

私が測ったデータをグラフにしました。(図1)

## 4. 結果

- ・(図1)のグラフを見ると1時間で0.5等級暗くなった。
- ・高砂と神戸6ヶ所の20:00の数値を比べ、0.5等級ごとに色分けした(図4)



(図1)

☆一宮高等学校地学部計測神戸6ヶ所(図2)



(図2) 神戸6ヶ所

☆高砂(図3)



(図3) 高砂

## 5. 考察

山から下りるほど明るくなって、新神戸駅などがある布引下が一番明るかった。

高砂は山の上ではないがまわりに繁華街がないので18.14等級になり

六甲ケーブル下駅と同じぐらいの明るさになりました。

高砂は工場が多く明るいけれど六甲山の中腹と同じだと分かり驚きました。

高砂の山側の明るさも調べてみたいです。

もう少し詳しくはポスターで☆

## 6. 謝辞

ご指導くださった愛知県立一宮高等学校の高村裕三朗先生、

ご協力くださった同校地学部の皆さん ありがとうございます。

